



メタバースで大野を活性化

C組5班 めたたん

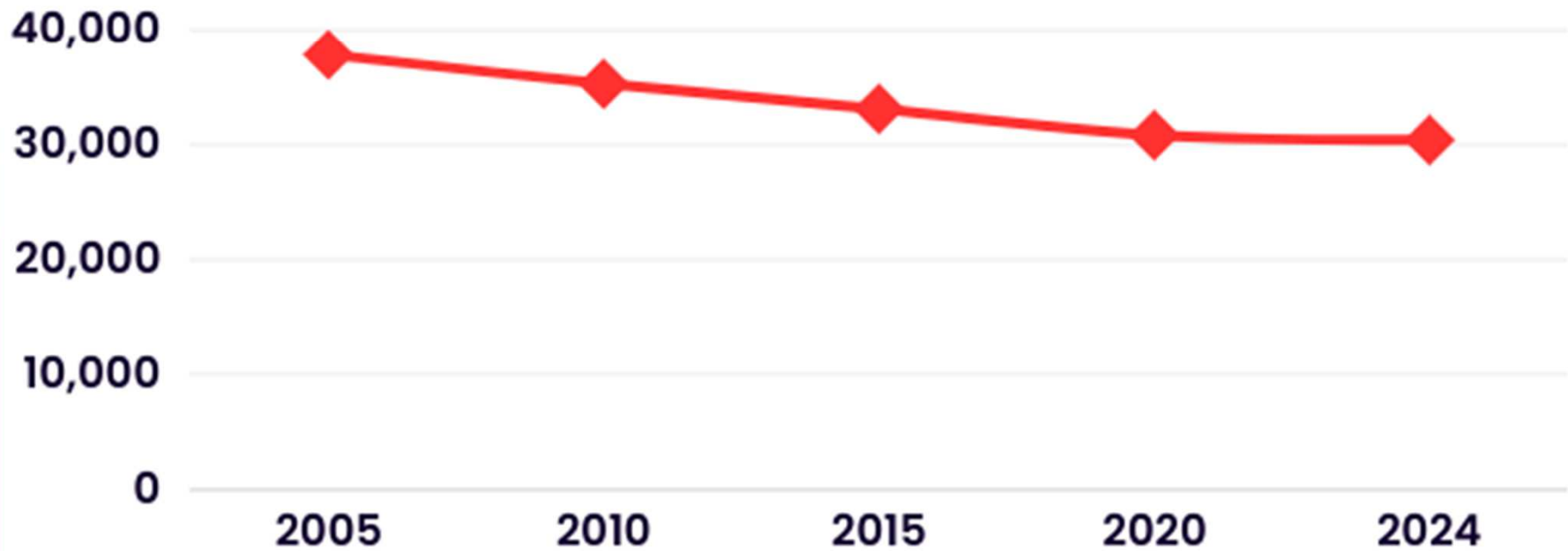
私たちのテーマはメタバースで大野を活性化です。このテーマに至った理由はデジタルを駆使して大野の現状の問題を解決できないかと考えたからです。

では、まず最初に…

大野の現状 について

ではまず最初に大野の現状について説明します。

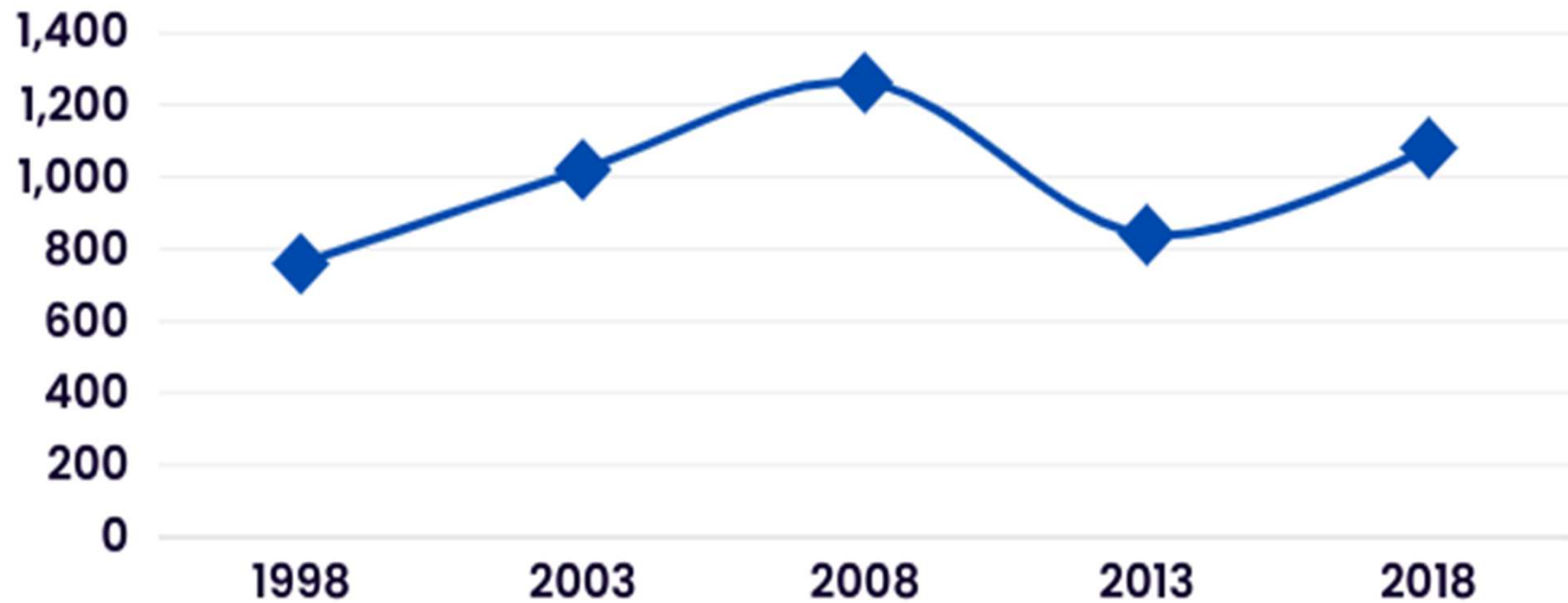
大野市の人口



大野市公式ホームページより

大野市は現在2005年から2024年にかけて約1万人の人口が減少しています。

大野市の空き家数



大野市公式ホームページより

それに伴って大野市の空き家数は増加傾向にあり、一時期は減ったもののまた増えてきている現状です。

提案内容

「メタバース活動」

を通して

空き家減少・関係人口増加

これらの問題を踏まえて私たちが提案するのは、「メタバース活動」を通して空き家減少・関係人口増加につなげることです。

メタバース

って何？



まずメタバースについて説明します。

メタバースとは…



三次元の仮想空間

メタバースとはインターネット上に構築された3次元の仮想空間のことです。
メタバース上では現実と同じように建物が立ち並び、自分の分身であるアバターを使って様々な人と交流をすることができます。

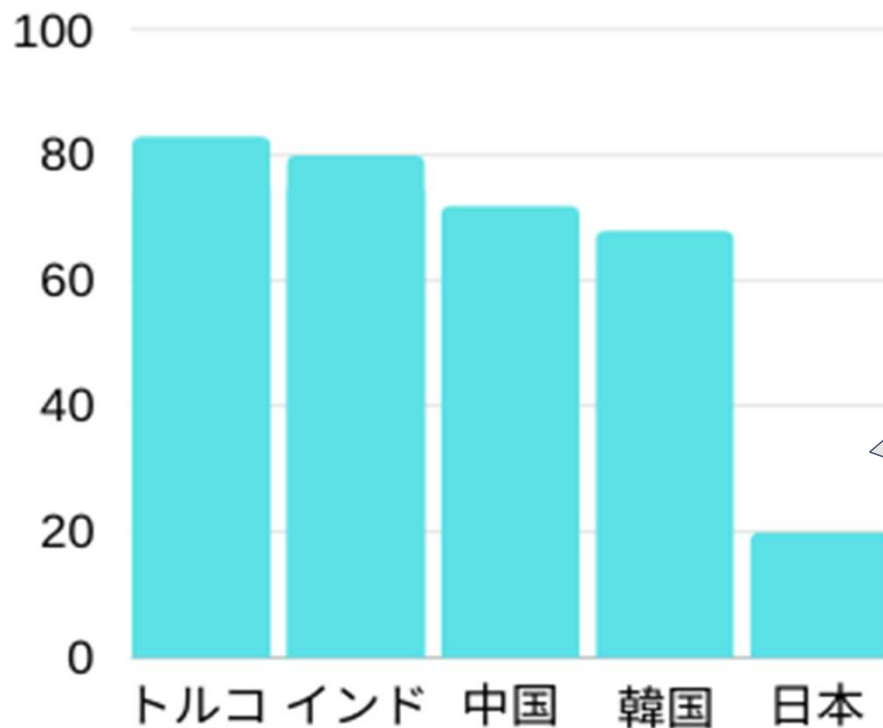
では、続いて



メタバースの現状について

では続いてこのメタバースの現状について説明します。

これは…



メタバースに
肯定的な意見
を持つ国民の割合

<https://jp.cointelegraph.com/news/developing-countries-love-the-metaverse-rich-keep-wef-survey>

これは、メタバースに肯定的な意見を持つ国民の割合を表したグラフです。
見てわかるとおり、日本はほかのアジア諸国に比べ、低いことがわかります。



ではなぜ…

日本は割合が低いのか

ではなぜ、日本は割合が低いのか。

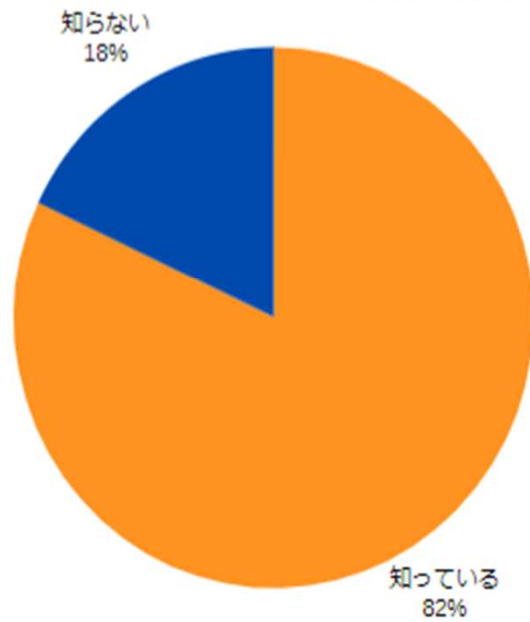
1 メタバースが理解できない

2 ITの知識がない

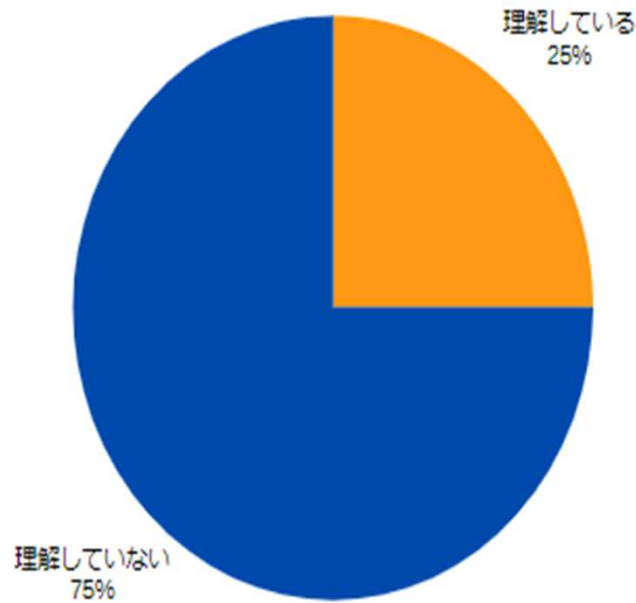
3 VR機器を揃えるのが大変

主な原因として、メタバースの知識がない、VR機器を揃えるのが大変、などが背景にあります。しかし近年では安価で機材が手に入るようになりましたし、スマホ上でも行えるようになりました。

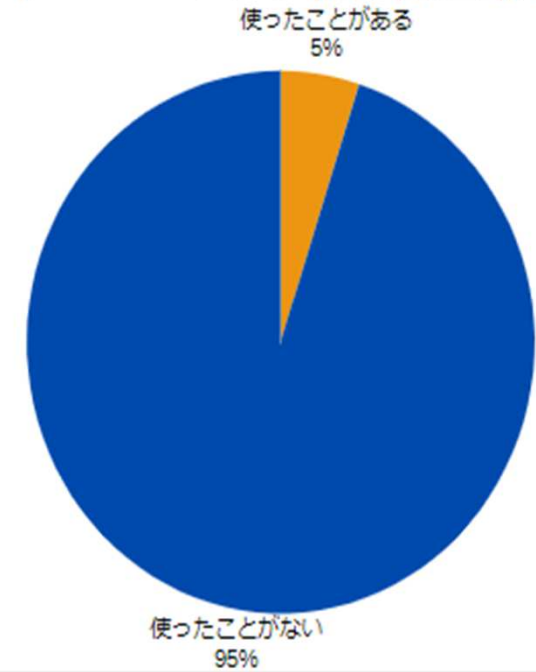
メタバースの認知率



メタバースの理解度



メタバースの使用経験



<https://webtan.impress.co.jp/n/2023/04/05/44592>

これはメタバースの認知率、理解度、使用経験を表したグラフです。メタバースという言葉自体は知っているけどよくわからない、使ったことがないという人が大半です。

メタバースの国内市場規模

メタバースの国内市場規模



<https://metaversesouken.com/metaverse/future->

これはメタバースの国内市場規模を表したものです。現在は5,000億円もの市場があり、その2年後には約2倍の1兆円になると予測されています。ですので、メタバースは今後期待値が高いです。

本題の…

メタバース活動について

それでは本題のメタバース活動について説明します。

メタバーブ活動とは…





メタバーズ活動を簡単に説明するとメタバーズ空間で大野の街並みを再現した空間に入り、観光などを行うことです。

私たちが考えるメタバーズ活動は次の2つです。

空き家改装

1つ目は空き家改装です。



空き家改装を簡単に説明すると、大野にある空き家を県外の人や市内の人などに有効活用してもらおうという仕組みです。例えば大野にお店を出してみたいという人に大野にまず出してみたい場所をメタバースで探してもらいます。次に気に入った場所が見つかったらその空き家を改装して店を出してもらったりすることなどがあります。

メタバースで ポイ活!!!

2つ目の提案はメタバースでポイ活動です。

ポイ活とは…



ポイ活とはメタバース空間の大野に訪れた人に市が設定したノルマや目標に挑戦してもらい、その目標やノルマを達成できた人に大野で実際に使えるクーポンやポイントを贈呈します。そのクーポンやポイントが大野に実際にきてもらい使ってもらうことで大野の関係人口を増加させようという取り組みです。

しかし…、
実際の大野への
影響が少ない



しかしメタバース上でのやり取りはあくまでも仮想空間内の活動のため、仮想空間内のみのやり取りにしかならず実際の大野への影響は少なくもったいないような気がしました。

そこで…

電子地域通貨を
作ろう！



そこでメタバース上での活動が現実世界とリンクできたらと思い、地域でも実際に使うことのできる仮想通貨を使ってはどうかと思いました。

結コイン



<https://www.city.ono.fukui.jp/index.html>

そこで私たちが考えたのが結（ゆい）コインです。この結コインはワンコイン1円で実際のお金と同様に使用することができます。



メタバース上で獲得したクーポンやポイントを実際に大野でも使えるようにすることで、メタバース上で大野に興味を持った人が実際に大野を訪れ、地元の特産物を購入したり、観光の際に使用したりすることができます。

電子地域通貨の例



<https://www.hidashin.co.jp/coin/>

実際にこの地域でも使える電子通貨の例として、さるぼぼコインという岐阜県内の電子地域通貨があります。このさるぼぼコインは、岐阜県の飛騨地域で使える電子地域通貨です。スマホやタブレットにアプリを入れることで手軽に使用できます。メリットとしては地域の中で電子通貨を循環させることができる点です。

この仕組みを結コインに取り入れれば、メタバース上で手に入れたクーポンやポイントを実際到大野で使うことができ、大野の関係人口を増やすことができるのではないかと考えました。

詳細

ターゲット 10代前半～30代前半
(Z世代)

使用方法 スマホ
タブレット
VRなど



主なターゲットは10代前半から30代前半のZ世代の人たちです。

このターゲット層に絞った理由はITを日常生活でよく活用する世代であること、また、大野から離れていく人が多い世代でもあるためです。

また先ほど述べたポイ活は全世代の人が対象です。

このメタバースを活用したシステムは直接サイトにアクセスして簡単に使用できるようにしていきたいと思っています。使用方法はスマホ、タブレット、VRなどがあります。

メタバースの成功事例！

山古志村について

続いてメタバースを使って成功した事例について紹介します。
それは新潟県にある山古志村です。



<https://www.google.com/url?sa=i&url=https%3A%2F%2Fniigata-kankou.or.jp%2Fspot%2F14642&psig=AOvVaw0afG-TMj1sp6yyTxzvl005&ust=1705730472589000&source=images&cd=vfe&opi=89978449&ved=0CBIQjRxqFwoTCKDg5anj6IMDFQAAAAAdA AAAABAD>

山古志村では元々人口800人の村でした。しかし2004年の土砂崩れをきっかけに人口が減少。そこで山古志村の人たちはメタバースやデジタル村民を取り入れました。そこで観光者や人口、山古志村に住みたいという人が増えました。

デジタル村民について

- バーチャルを通して町を観光できる
- 伝統行事を体験できる



続いてデジタル村民についてです。デジタル村民とはバーチャルを通して町を観光できたり伝統行事を体験できる住民のことです。それだけではなく町の会議に実際参加しアイデアを提供したり、実際に投票できたりできます。

考察

メタバースを活用

メリット

関係人口増加や空き家数減少が期待できる

デメリット

費用や時間がかかる 良いものが作りづらい

大野にメタバースを取り入れることによってメリットは人口増加や空き家数の減少が期待できます。

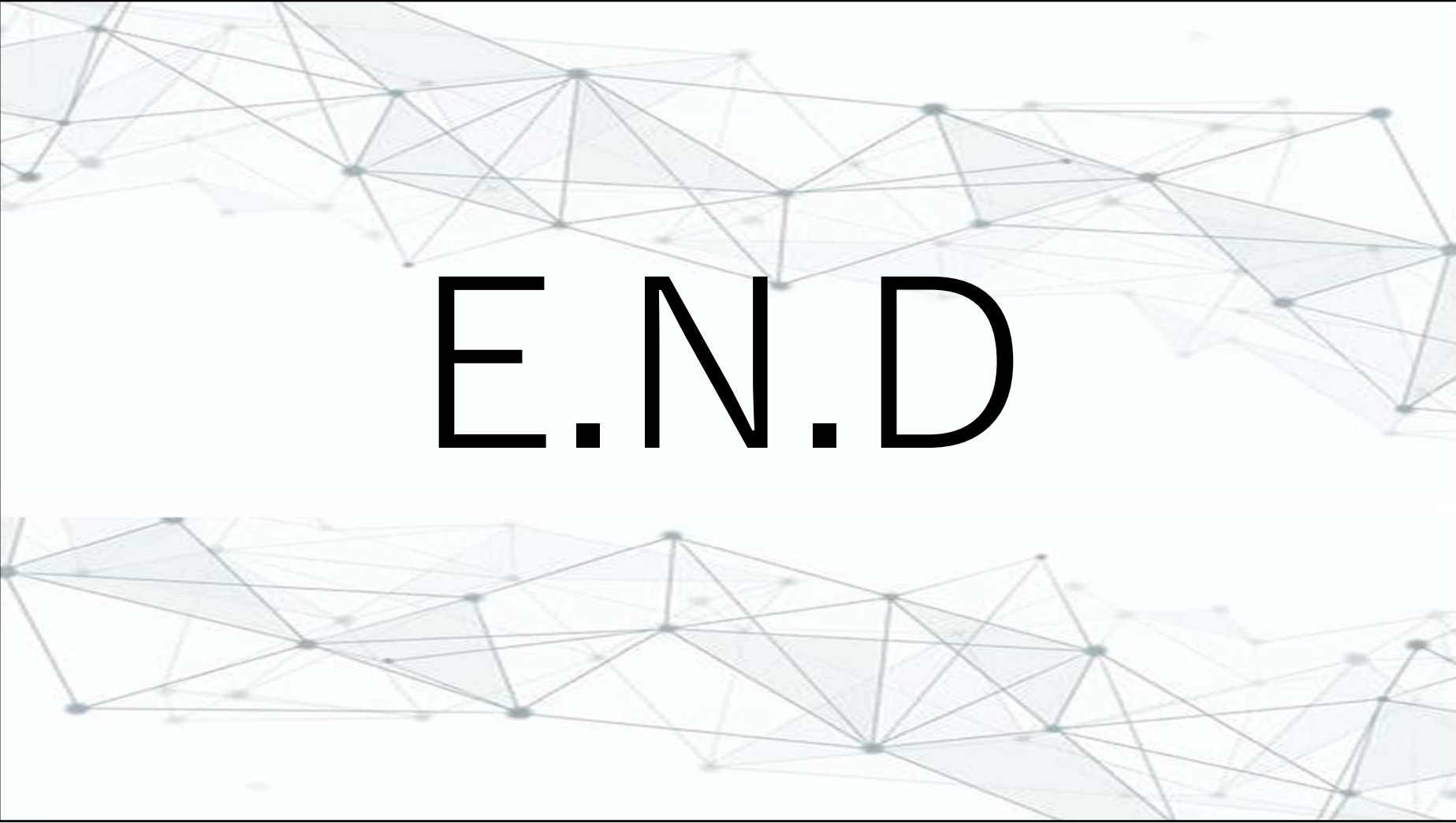
しかしデメリットは費用や時間がかかる、容量が大きくて画質などが荒くなっていいものが作りづらい、というところがあります。

結論

- ・ 大野にメタバースを取り入れる
- ・ 空き家など今ある資源を利用する
- ・ メタバースを通して大野に興味を持ってもらう

結論は大野にメタバースを取り入れる、空き家など今ある資源を利用するメタバースを通して大野に興味を持ってもらう、です。

これが僕たちがメタバースを取り入れたいと提案する理由です。



E.N.D